



職場の雰囲気は？子育てとの両立は？ 女性社員座談会

製造部と事務所で活躍するフレッシュな女性社員4名にインタビュー！
男性が多い職場のイメージを覆す、年齢や性別を越えた温かいコミュニケーションや、
子育てへの理解など、働きやすさの秘密をたっぷり語っていただきました。

男性が多い業界というイメージがあるかもしれませんが、実際に入社してみてどうでしたか？

年齢・性別を越えた、
温かいコミュニケーション

今野さん：入社してみると、年齢や性別に関係なくコミュニケーションが取れており、男性ばかりの職場という感覚はありません。大変な作業のときは周囲が快く手を貸してくれますし。

木戸さん：そうですね。先輩方は皆優しく、ときには厳しく指導していただくこともありますが、そこには常に「愛」を感じます。

今野さん：わかります。会社の中で孤立するようなことは決してありません。多様な年代の方がいるからこそ、良い輪が保たれていると思います。

清水さん：入社前は「職人」というと怖いイメージが

ありましたが、実際は思っていた以上に優しい方ばかりです。

庄司さん：事務所の方々は仕事のメリハリがあると感じています。冗談を言い合って明るいときもあれば、パソコンのキーボードの音だけが響き渡るようなときもあります。

仕事ではどのような瞬間に
やりがいを感じますか？

企画が形になる事務所の達成感

清水さん：私は企画広報課で SNS やホームページの運営を担当しています。自分が作り上げた SNS の投稿が反響を呼んだときや、メディアの方とのやり取りを通じて自社の広報活動に繋がっていると実感できた

2024年入社

製造部
木戸 夢花さん



木戸さまのお子様です



2025年入社

事務所
庄司 美咲さん



2025年入社

事務所
清水 美愛さん



2025年入社

製造部
今野 舞さん



ときに達成感を得ます。

庄司さん：社会貢献や地域貢献のイベントを担当しているのですが、準備を重ねて迎えた当日、お客様が楽しそうにされ、アンケートで「良いイベントでした」とのお声をいただいたりするときに大きなやりがいを感じますね。

積み重ねが
実を結ぶ製造部の喜び

今野さん：毎日少しずつ組み上げた図面を「終了」の箱に入れるときです。日々の小さな作業の積み重ねが1つの形になる瞬間に喜びを感じます。

木戸さん：自分たちで1から作った製品が、最後に積み込まれるのを見たときが一番嬉しく思います。

子育て中でも働きやすい環境ですか？

お互いを思いやり、
安心して働ける職場

木戸さん：社内には子育て中の社員も多く、子どもの

体調不良などで急にお休みをいただく際も、皆さん事情を理解してくれます。

清水さん：私は最近体調不良で休んだのですが、多くの方が「大丈夫だった？」と温かく声をかけてくれました。休むことで気まづくなるような雰囲気が一切ありません。また、社内には託児室も完備されており、子どもの急な発熱時などにも利用できるため、安心して働ける環境です。

入社を検討している女性への
メッセージをお願いします。

温かい仲間と共に、
自分らしく成長できる場所

皆さん：年齢や経験に関係なく、やる気があれば全員が温かく受け入れてくれる会社です。「男性の職場」という固定概念を一度取り払って、この働きやすい環境を実感してください。環境が整っているからこそ、自分自身も成長できる職場です。ぜひお待ちしております！



社員の1日に密着!

～多岐にわたる業務で会社を支える人事課長～

人事課の渡邊さんは、採用から労務管理、社内研修の企画まで幅広い業務を担当。多忙な日々を送る一方で、ご家族との時間やご自身のリフレッシュも大切にされています。今回は、渡邊さんの充実した1日に密着しました。



管理部 人事課 課長
わたなべ けいた
渡邊 恵太さん

午前8時 朝礼とマインドフルネスで業務開始

8時前には会社には到着し、製造部の朝礼に参加。危険予知活動の確認などを経て、私からの共有事項を伝達します。その後、管理本部の朝礼、9時からは会社で導入しているマインドフルネスのオンライン研修を受講。ストレッチと呼吸瞑想を行うことで睡眠の質が向上し、心身ともに良い影響を実感しています。

正午 お昼休憩&資格の学習

昼食は持参したお弁当を自席で食べます。以前は、休憩時間を資格試験に向けた学習にも充てていました。



午後6時30分 退社後の家族時間とリフレッシュ

退社時間は日によって異なりますが、平均すると18時半頃です。帰宅後は子どもを入浴させ、家族で夕食。食後は、子どもたちとその日の出来事を話す時間を必ず設けています。音楽やラジオを聴きながらの料理は、自分をリセットする大切な時間です。また、朝と夜に自作のぬか床を手入れすることも日課にしており、23時頃には就寝しています。

午前5時30分 起床&家族の朝食準備

朝は5時半に起床します。自分の身支度を整えた後、2人の子どもの朝食や夫婦のお弁当、家族のお茶の準備を行うことが毎朝のルーティンです。妻と分担して家事を進め、7時にはすべての準備を終えて自宅を出発。車内では必ずその日のニュースを聞きながら出社しています。

午前10時 集中力を要する多岐にわたる業務

入退社や各種保険の手続き、教育体制「さくらクラフトマンアカデミア」の打ち合わせ、高校への進路説明会など、日によって異なる業務に対応します。人事課の内容確認や求人用データの収集など、集中力を必要とする仕事は午前中に割り当てることがほとんどです。

午後1時 柔軟なスケジュール対応と労務管理

午後は定まった予定があるわけではなく、状況に応じて柔軟に動きます。例えばコンサルタント会社との打ち合わせや、自ら企画した社内研修の実施など。また、社員の残業時間や有給休暇の管理といった労務管理も重要な業務の一つです。



(仕事をする上で大切にしていること)

周囲の方々への感謝の気持ち

私が大切にしているのは、「人は1人では生きられない」という思い。人事担当は私1人ですが、決して単独で仕事を進めているわけではありません。現場の皆さんが実績をつくってくれるからこそ、会社の魅力を外へアピールできるのです。多くの方々に助けられている感謝を忘れず、縁の下の力持ちとして会社全体を支える仕事を目指しています。



安全大会実施報告

今年も安全大会を実施いたしました!一緒に振り返ってみましょう。

日時: 2026年3月5日(木) 会場: ホテルグランドパレス塩釜



就業規則等説明会(社内限定)

4月からの規則改定に先立ち、さくら従業員のみを対象とした説明会を実施しました。新しく加わった仲間の人事紹介に続き、TMC様を講師に招いて車両規則や就業規則の具体的な解説が行われ、全社員が共通の指針を持って新年度を迎えるための準備を整えました。

ヒヤリハット報告

現場担当者5、6名が登壇し、実際の業務中に経験した「ヒヤリとした、ハットとした」事例を具体的に報告しました。現場のリアルな声を共有することで、一人ひとりが自分の作業に潜む危険を再認識する貴重な時間となりました。



マインドフルネス講習

これまで工場勤務者を中心に実施していたマインドフルネスを、初めて参加者全員で体験しました。大勢で心を整えるワークに取り組むことで、集中力の向上やストレス管理といった、安全作業の土台となるメンタルケアの重要性を学びました。

スケジュール

- 1 就業規則等説明会
- 2 安全大会
 - 災害事例発表
 - ヒヤリハット報告
 - 動画視聴
 - マインドフルネス講習
 - 社長挨拶
 - 安全唱和
- 3 懇親会

安全唱和

大会の締めくくりとして、全員で安全唱和を行いました。力強い指差し呼称と共に、現場第一で無事故・無災害を達成するという決意を会場全体で共有しました。



社長挨拶

高橋社長より、さくらが将来に向けて描く100年ビジョンについての講話がありました。新しく掲げられた教育共創の理念や、長年大切にしてきた社是についての想いが語られ、組織が目指すべき方向性と社会への貢献について全参加者が思いを一つにしました。



懇親会

大会終了後は立食形式での懇親会を開催しました。普段なかなか顔を合わせる機会の少ない現場スタッフや協力会社の方々と直接言葉を交わし、最後には全員で集合写真を撮影して親睦を深めました。

運営担当者より一言



総務部
しみず みあ
清水 美愛さん

今回は受付として皆様をお迎えしました。入社以来、お名前しか存じ上げなかった現場の皆さまとお会いし、お顔と名前が一致したことが何よりの喜びでした。懇親会ではマインドフルネス講習への「受けて良かった」という声を多くいただき、真剣な参加に感謝しています。この交流で深まった絆を大切に、これからも安全で明るい職場づくりに励んでまいります!

